

**講座「東京湾の科学」①  
(4/24, 5/6, 8)**

◎ この講座は、笹川平和財団海洋政策研究所の「海洋教育パイオニアスクールプログラム」により、ご支援を頂いております。

この講座は、昨年度の講座「三番瀬を大切に」を拡大し、浦安市の前面に広がる東京湾を様々な角度から考えてみようという講座です。上にも書いたように、笹川平和財団海洋政策研究所が今年度から開始した「海洋教育パイオニアスクールプログラム」に応募した結果、6月に採択のご連絡があり、この講座の経済的側面にご支援を頂けるようになりました。

<実施日時及び実施場所>

4月24日(日)	9:00~17:00	校外学習「盤州干潟・勝浦海岸・海の博物館」
5月6日(金)	16:10~17:00	事前授業：物理第一実験室 講師：佐藤勝美(サイエンスクラス担当)
8日(日)	9:00~15:00	校外学習「三番瀬クリーンアップ大作戦」参加
22日(日)	8:30~15:00	校外学習「神奈川の海体験会」参加
6月11日(土)	8:30~15:00	校外学習「アサリ貝剥き実習」浦安市郷土博物館
19日(日)	9:00~17:00	校外学習「干潟を探検しよう」浦安三番瀬
7月21日(木)	8:30~17:00	校外学習「第三管区海上保安本部」 ・「三菱みなとみらい技術館」(横浜市)
8月30日(火)	8:00~17:00	校外学習「校外学習海上自衛隊館山航空基地」 ・「館山市立渚の博物館」(館山市)
10月2日(日)	9:00~17:00	校外学習「海をボートで見よう」 内容：三番瀬の水深調査・生物調査
1月5日(木)	9:00~17:00	校外学習「海苔作り実習」浦安市郷土博物館

**<盤州干潟・勝浦海岸・海の博物館4/24>**

この日は、地元浦安市の市民団体である「浦安三番瀬を大切に作る会」が行っている「東京湾の生き物のゆりかご『三番瀬』を学ぼう！PART2」のイベントに参加させて頂きました。外洋である勝浦市の海と、三番瀬の原風景(昭和30年代の姿)を留めている木更津市の盤州干潟の見学です。このイベントには、浦安市の一般市民の方々も参加しておりました。

勝浦では、千葉県立中央博物館の分館である海の博物館にお越し、磯採集と生物観察会を行いました。



まず、博物館の学芸員の会に概要をうかがいました



潮が引いた磯で、様々な生物を探します



それぞれが採集した生物について、お話を伺いました

東京湾に残された自然干潟は、ごくわずかですが、その中でも、最も自然を留めているのではと言われるのが木更津市の盤洲干潟です。浦安の干潟も、かつては「沖の百万坪」とよばれる広大な

干潟だったそうです。その原風景に出会うために見学に行きました。



どこまでも続く芦原をえんえんと歩きます



やがて、広々とした干潟が眼前に広がります



潮干狩りが出来そう



1960頃の浦安の「沖の百万坪」(浦安市HPより)

### <事前授業5/6>

本来であれば、第一回目が事前授業なのですが、前記の校外学習が早々と入ってしまったために、

この日が事前授業となりました。この日の授業では、この講座の全体像と、浦安市と本校の歴史を学びました。本校が浦安市に存在する（本校の前身は、渋谷区にあった「東海大学付属高校」）に至った原因の一つとして、浦安の「黒い水事件」があったこと、浦安市の面積の3/4は埋め立て地であることなどを学習しました。興味のある人は、「黒い水事件」を調べてみてください。

### ＜三番瀬クリーンアップ大作戦5/8＞

第18回三番瀬クリーンアップ大作戦に参加しました。これは、広く市民に呼びかけて、三番瀬の浦安市護岸を清掃するもので（大会名誉会長は、松崎浦安市長）、終了後には、三番瀬の水生生物の観察会も行われます。この「大作戦」には、我がサイエンスクラスは以前から参加していましたが、2011年の震災で護岸が大きく破壊され、しばらく実施が見合わされていましたが、昨年からは再開されたものです。

今年度からは日の出北公園と三番瀬側護岸の境が取り払われ、自由に海に出ることが出来るようになりました。昨年度までと違い、今年は、この公園から出発です。

集合後に開会式が行われ、子供達のダンスなども披露されました。



集合場所は日の出北公園



今年の参加者は476人



記念の集合写真を撮ってから、護岸に散りました



この日は好天に恵まれ、参加者は熱心にゴミを集めていました



ゴミ集め後は生物観察会



このクラゲは危ないから気をつけてね

この日の参加者は、スタッフを除き476名。集めたごみの量は、燃やせるごみが100kg、燃やせないごみが350kgでした。

東京湾に残された数少ない干潟の一つである三番瀬（さんばんぜ）を今後も大切にしたいと思います。

以上（文責 サイエンスクラス統括：佐藤勝美）